

2015年6月2日

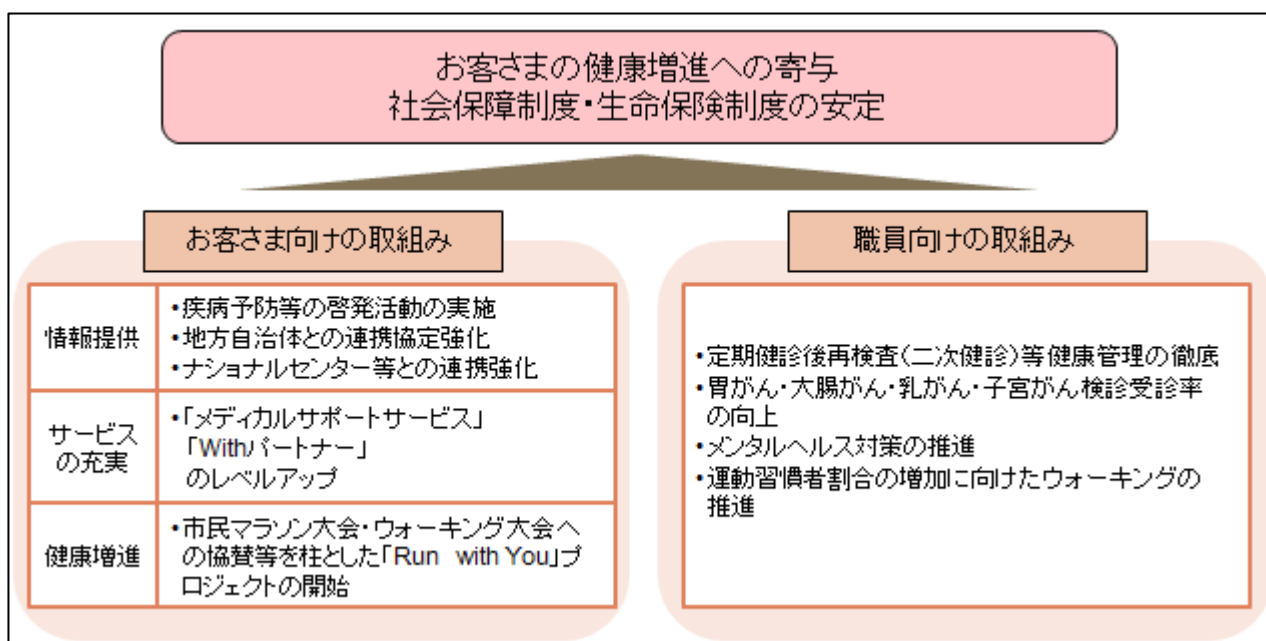
「健康増進中期計画」の策定

第一生命保険株式会社(社長 渡邊 光一郎、以下「当社」)は、2015-17年度中期経営計画『D-Ambitious グループを挙げた持続的価値創造の実現』にあわせ、同期間における「健康増進中期計画」を策定しましたので、お知らせします。

当社は、社会保障制度・生命保険制度の安定のため、国民の健康増進という社会的課題の解決に貢献しなければならぬと考えており、創業来、「健康増進」「保健衛生環境の向上」に取り組んできました。

こうした背景のもと、「健康関連情報の提供」をはじめとする、お客さまの健康増進に寄与することを目的とした諸施策に加えて、当社役職員自身が健康に高い関心を持つ必要があると考え、職員の健康増進に向けた取組みも含めた「健康増進中期計画」を策定しました。

<健康増進中期計画の骨子>



当社は2015年3月25日、「健康経営」に優れた上場企業として、経済産業省および東証の「健康経営銘柄」に選定されました。経営から各職場まで一貫した健康増進の取組みを加速させ、お客さまお一人おひとりに最高峰の安心のお届けと健康な人生のサポートを行うべく、更なる挑戦を続けていきます。



1. お客さま向け健康増進の取組み

当社は2013年度に「一生涯のパートナーWithYouプロジェクト」をスタートさせ、本業の生命保険を通じた【確かな安心】とともに、生涯設計デザイナー®をはじめとする高い専門性を持つ全役職員により【充実した健康サポート】をお客さまお一人おひとりに提供する取組みを続けています。

今般策定した「健康増進中期計画」においても、

- ・お客さまへの健康情報の提供
- ・高品質の健康・医療・介護サービスの提供
- ・スポーツ振興を通じたお客さまの健康増進・維持への貢献

などに注力することで、お客さまの健康増進に貢献していくことを目標としています。

①お客さまへの情報提供

当社に在籍する約4万名の生涯設計デザイナー®が中心となって、がんや生活習慣病予防をはじめとする啓発活動を行うなど、お客さまの健康増進に役立つ情報を提供します。

具体的には、当社の生涯設計デザイナー®全員が、携帯する情報端末「DL Pad」や情報紙を通して、病気のメカニズムや最新の治療法をご紹介するとともに、予防や検診受診の勧奨などフェイス・トゥ・フェイスによる啓発活動に取り組んでいます。

なお、がん検診受診の勧奨などの啓発情報のチラシについては、これまで累計1,000万枚超をお客さまにお届けしました。



職員携帯端末 DL Pad



お客さま向け啓発チラシの例

さらに、より地域に根ざし、地域の皆さまの健康に貢献するべく、地方自治体との連携協定の締結および協定に基づく健康・医療啓発活動に注力していきます。

具体的には、地方自治体との連携協定に基づき、

- ・地域の検診情報や健康イベントのお知らせ
- ・各地でのがん検診受診促進
- ・健康セミナーの開催
- ・県別のがん情報リーフレットの作成・配布

などに取り組んでいきます。2015年4月時点で37道府県・14都市と連携協定を締結していますが、今後もより多くの地方自治体と連携協定締結を進め、地域の皆さまに役立つ健康情報をお届けしていきます。



地域のお客さま向けセミナー



県のがん検診イベントで検診の呼びかけ



ポケットティッシュ配布でがん検診啓発

加えて、ナショナルセンター等、専門医療機関・研究機関との情報提供に関する連携も進めています。これまで当社は以下の機関と情報提供に関する包括連携協定を締結しました。

- ・国立がん研究センター : 「がん」に関する情報提供について包括連携協定(2012年1月)
- ・がん研究会(有明病院) : 「がん」に関する情報提供について包括連携協定(2013年2月)
- ・国立循環器病研究センター : 循環器病情報の普及啓発に向けた包括連携協定(2014年5月)
- ・国立長寿医療研究センター : 認知症その他の長寿医療情報の普及啓発に向けた包括連携協定(2015年2月)

これら提携により、「がん」・「循環器系疾患」に加え、「認知症」など長寿医療までカバーする業界 No.1 の情報ネットワークを構築しました。今後も専門家の知見をバックボーンとした、よりお客さまの健康増進に資する情報の提供に努めていきます。

②お客さま向けサービス

お客さまに【充実した健康サポート】をお届けするため、商品・サービスの充実に努めており、個人のお客さまを対象に、次の健康サポートサービスを提供しています。



「メディカルサポートサービス」は、個人保険のご契約者・被保険者とそのご家族の方を対象に、健康・医療・育児・介護に関する相談や情報提供を、電話やインターネットを通じて24時間365日ご利用いただけるサービスです。ご契約者だけでなく同居・別居問わずご家族もお使いいただけます。

「Withパートナー」は、個人保険に加入のご契約者を対象としたポイントサービスです。お払込保険料やご継続年数によって計算されたポイントを使って、健康・医療や暮らしに役立つご優待サービスなどをご利用いただけます。

さらに、「一生涯のパートナーWithYouプロジェクト」のレベルアップの取組みとして、2014年12月より「セカンドライフ生涯設計応援宣言(※)」の取組みを開始し、シニア層のお客さまにご活用いただけるさまざまなサービスをお届けしています。この取組み開始にあわせて、50代以上の方へくセカンドライフをサポートするサービス>を新たに提供しました。高齢で介護などが必要なご家族がいらっしゃる方にはそのご家族を支えるサポートとして、またご本人にとってもお役に立つ以下のサービスをご提供しています。

- ・セカンドライフ医療・健康電話相談
- ・訪問理容・美容
- ・空き家管理サポート
- ・おもいで整理(遺品整理)
- ・終活相談サービス(葬儀)

シニア層のお客さまお一人おひとりの「確かな安心」をかたちにする取組みを開始

セカンドライフ
生涯設計応援宣言

シニア層のお客さま向け新サービスの提供 <small>医療・健康相談、訪問理容・美容、空き家管理・おもいで整理・終活相談 等</small>	
シニア専用 フリーダイヤル開設	通知・帳票の見やすさ・ わかりやすさ向上 <small>(保険証券・ご契約内容説明帳票 等)</small>
シニア向け「セカンドライフ生涯設計応援セミナー」開催	
ヤマト運輸と連携し、遠隔地のシニア層のお客さまへの 「安心」のお届け一部地域で開始	

また、法人のお客さまに対しては、一部の団体保険の付帯サービスである「第一生命けんこうサポートデスク」や、法人のお取引先を対象とする「健康経営セミナー」を提供しています。

今後も、お客さまにより高品質なサービスを提供できるように、サービスメニューのレベルアップに取り組んでいきます。

※詳細については、2014年12月5日付リリース「『セカンドライフ生涯設計応援宣言』の取組み開始について」および、2015年3月11日付リリース「第一生命保険株式会社とヤマト運輸株式会社が連携し、地域のお客さまに『安心』をお届け」をご参照ください。

③健康増進(スポーツ振興)への取組み

当社は、生命保険会社として皆さまに安心をお届けするだけでなく、誰もが参加でき、身近な健康促進スポーツである「市民マラソン」の支援を通じて、健やかな生活のサポートをしていきたいという思いから「Run with You」プロジェクトを立ち上げました。また、「市民マラソン大会」は各地域をあげた一大イベントにもなっていることから、マラソン大会の運営を通じて地域の活性化にも貢献したいと考えています。

※詳細については、2015年6月2日付リリース「イメージキャラクターに武井咲さんを起用 東京マラソンをはじめ、全国15の市民マラソンに協賛する新プロジェクト『Run with You』始動！」をご参照ください。

- ・東京マラソンなど全国15の市民マラソンへの協賛
- ・協賛する大会での健康チェックブースの設置等によるスポーツ啓発・健康啓発
- ・ランニング教室の開催

■協賛予定大会一覧



上記は2015年度に当社が協賛するマラソン大会です。

加えて、全国4つのウォーキング大会へも協賛する予定です。

■2015年度協賛予定 ウォーキング大会一覧

- ・第9回 北九州無法松ツーデーマーチ
- ・第15回 瀬戸内しまなみ海道スリーデーマーチ
- ・第38回 日本スリーデーマーチ
- ・第17回 城下町おだわらツーデーマーチ

2. 当社職員の健康増進

当社は2011年に「第一生命グループ健康宣言」を全職員に向けて発信しました。同宣言において第一生命グループとして健康増進運動を展開することを宣言し、会社・健保・労組が一体となって、「健診受診の徹底」「生活習慣改善」「禁煙」などの健康寿命の延伸に向けた取組みを展開してきました。

「健康増進中期計画」においても、以下の取組みを推進するとともに、2017年度における「適正体重維持者割合」「運動習慣者割合」をはじめとする定量的な目標も設定し、職員の健康管理を推進していきます。

<具体的取組>

- ・定期健診後再検査(二次健診)等健康管理の徹底
- ・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮がん検診受診率の向上
- ・メンタルヘルス対策の推進
- ・医療費伸展率の抑制
- ・運動習慣者割合の増加に向けたウォーキングの推進 等

<主な定量目標>

指標	指標解説	2014年度実績	2017年度目標	2022年度国の目標 (健康日本21)
<食生活> 適正体重維持割合	BMI25未満の職員の割合 ※BMIとは身長からみた体重の割合を示す(BMI25以上を肥満と分類)	男性:70.6% 女性:77.9%	男性:71.1% 女性:79.2%	男性:72.0% 女性:81.0%
<運動> 運動習慣者割合	30分・週2回以上の運動を1年以上継続している職員の割合	男性:34.7% 女性:27.1%	男性:35.1% 女性:29.1%	男性:36.0% 女性:33.0%

【ご参考】医療・健康分野に関するこれまでの主な取り組み

当社は創業者の矢野恒太が医師であったこともあり、創業来、医療分野での社会貢献に力を入れてきました。

矢野恒太は1935年当時、日本人の死因第1位であった結核対策を目的に「保生会」を設立し、長期療養施設「保生館」を建設するなど、国に先駆けて結核対策に取り組みました。その後、1939年に官民あげての結核予防会が設立されると、矢野恒太は完成した結核療養所など保生会の全財産を寄付しました。なお、「保生館」はアニメ映画「となりのトトロ」で主人公の姉妹の母親が療養していた「七国山病院」のモデルになったといわれています。

また、太平洋戦争後、公衆衛生環境が悪化していたわが国の保健衛生向上のため、1950年に「保健文化賞」を創設しました。受賞者は天皇・皇后両陛下に拝謁を賜る権威ある賞です。その時代におけるさまざまな課題に取り組んでこられた方々を表彰しています。

1959年には死因の上位を占める循環器系疾患の専門研究機関・病院である「公益財団法人心臓血管研究所」を設立し、臨床研究発表や臨床データ公開を通じて循環器系医療の向上に貢献しています。



「保生会」



第66回 保健文化賞贈呈式

以上